

# 「安全で楽な内視鏡検査」がモットー 消化器に異常があれば消化器内視鏡センターへ

消化器内科主任部長 兼 消化器内視鏡センター長 田中 弘教  
兼 超音波センター長



## Q.1 消化器内視鏡センターについて 教えてください

筑波大学卒業後、岡山大学消化器内科での研修、米国留学を経て、兵庫医科大学肝胆膵内科・超音波センターで勤務。肝臓を中心とした消化器内科の経験を積む。平成27(2015)年に消化器内科部長として当院に赴任した後、平成30(2018)年から主任部長。現在は、主任部長、消化器内視鏡センター長と超音波センター長を兼務。

日本消化器病学会専門医・指導医、日本肝臓学会専門医・指導医ほか

当院では、平成23(2011)年に消化器内視鏡センターを設立し、「安全で楽な内視鏡検査」をモットーに、患者さんが安心して検査を受けられるようにしています。



内視鏡検査の様子

内視鏡検査は、消化管の中に空気を入れて拡張するのが一般的ですが、検査後に腹部膨満感などを伴うことが多いため、当院では、お腹が張りにくい二酸化炭素ガスを使用しています。これにより胃と大腸の内視鏡検査を同時に受けることもでき、大変好評です。

検査は消化器内科医師と熟練した内視鏡専属技師が担当します。経験豊かな看護師が検査前の問診再確認と、検査後に目が覚めるまでの確認を行い、安全で体への負担の少ない内視鏡検査をサポートしています。

また、昨年最新の内視鏡装置を導入し、非常に鮮明な画像により、早期胃がんや大腸がんなどに対する高い精度の内視鏡手術ができるようになりました。

## Q.2 肝臓疾患の診断や治療にも 力を入れていると聞きます

消化器内視鏡センターでは、昨年導入し

た最新の高性能超音波装置を使用して、肝臓がんの診断や治療を行っています。この装置には最新のナビゲーション機能が備えられ、肝臓がんを死滅させる治療「ラジオ波焼灼術」を全国トップレベルの精度で行っています。

この装置を使用することで、肝臓の硬さの測定に加え、脂肪肝の程度を数値で診断できます。脂肪肝には、非アルコール性脂肪肝炎などの肝硬変や肝臓がんに進行するタイプもあるため、早期に医師の治療を受けることが重要です。

## Q.3 最後一言お願いします

健診などで消化器や肝機能の異常を指摘された場合は、かかりつけ医にご相談の上、紹介状を持って当院へお越しください。

## 内視鏡検査の流れなどを 動画で解説



動画はこちら